

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)6月9日
所属名：東近江農産普及課
番号：D2002
部門分類：410 個人経営
発信者名：田中（義）

橋場芳明氏に黄綬褒章が授与される

令和5年5月15日に皇居で「令和5年春の勲章・褒章伝達式」が開催され、近江八幡市安土町の橋場芳明氏に黄綬褒章が授与されました。

橋場氏は県内畜産の中心地である大中の湖地域において昭和48年に就農し、当初は水稻と乳用種去勢肥育牛40頭からスタートされました。翌年には牛舎を建築し100頭規模になり、平成元年には牛舎を増築し黒毛和種を導入、平成24年に後継者の経営参入を機に「近江牛」肥育経営の専門化を図られました。

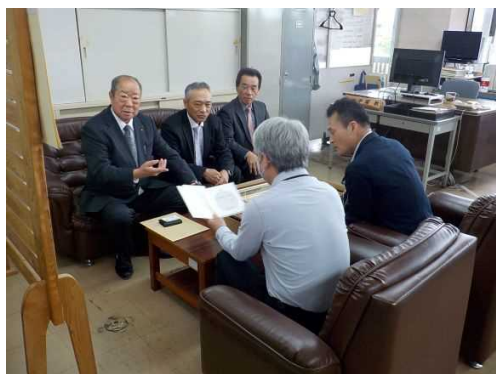
そして現在の経営規模は黒毛和種230頭で年間110～120頭出荷し、高い技術力に支えられた高品質な肉用牛生産に取り組んでおられます。

平成11年には品質向上に向けて生産者仲間4人と「肉質向上委員会」を設立し、平成13年にはJAや他の生産者も参画し会員約20人の近江大中肉牛研究会「牧友会」に再編し、会員相互の肉質・増体の向上を目的に、月に一度の勉強会と牛舎巡回で技術交流や意見交換を行い、飼料給与や飼育方法の技術研鑽を図ってきました。

このように自分だけではなく仲間や関係機関も加え、地域の品質向上に取り組まれています。

橋場氏は平成14年に第49回近畿東海北陸連合肉牛共進会で最優秀賞を受賞され、技術の高さを証明されています。また、現在に至る「近江牛」のブランド向上に貢献された功績により、第52回優秀農家表彰農林水産大臣賞などを受賞され、今回黄綬褒章の名誉を受けられました。

今後当課では橋場氏と共に手を携え、地域の農業振興に寄与していきたいと考えています。



東近江農業農村振興事務所に
ご報告に来られました



橋場氏と
「表彰状および黄綬褒章」